

今年のカレンダーも最後の一枚に。1年が経つのは本当に早いものです。年始に立てた目標、描いた自分はどこまでモノになっていますか？忘年会で語るもよし、一人で反省するのもよし！どちらにせよ、次のステップに進んでいきましょう。

■三重県要約筆記者現任研修を行いました！

11月9日（土）三重県社会福祉会館3階講堂にて、三重県要約筆記者現任研修が行われました。2年後に行われる「三重とわか大会での情報支援について」の内容で、支援センターと三重県聴覚障害者協会との共催でした。参加人数は、午前17名、午後23名。

午前中は、とわか大会情報支援ボランティア養成検討委員会（筆談部）による、手書き要約筆記者を対象とした実技実習。まず、「とわか大会とは？」「いつもの情報保障との違いは？」などを座学で学び、後半は地域ごとにペアワークとグループワーク。

屋外でのノートテイクで開始式での挨拶原稿があった場合や、キャスター付きホワイトボードで前ロールがあった場合の送り方・引き方などをロールプレイを通して学びました。



要約筆記者現任研修での一コマ



参加者全員、真剣な顔持ちです！

検討委員側も、とわか大会の場面を想定しながら、雨に備えた道具や方法を考えてこの研修に備えたのですが、そこは現任者とあって、日ごろ使っている良い筆記具を提案してもらったり、もっと良いやり方はないかとの視点で、活発な質問・ご意見を伺うことができました。

また、アンケートからは「本番で慌てることがないように練習を積んでいきたい」「楽しく学べた」などの前向きな感想が聞かれました。

午後は、東京大会での情報保障を経験された佐藤久美子氏をお招きし、手書き・パソコン要約筆記者共通で、「情報支援の考え方」等の講義をいただき、実際に東京の準備としての前催県岐阜への視察の様子を映像で確認した後、普段の派遣現場との違い（対象者が不特定多数であること、内容がスポーツに特化したものであること）や会場特性に合わせた準備が必要になること等を教えていただきました。

三重では、ボランティアとして関わっていただく予定の「情報支援」の分野を、東京では登録者150名で通常の派遣と同様に対応し、その他の「文字情報」「筆談」の場面では、大会スタッフ全員で対応する体制をとったとのことには正直言って驚きました。東京ならではの部分でもあり、三重でもそれは目指したいものの予算的な問題で実現は難しいのだろうとも思え、複雑な思いはしました。

その後は、「表記」や「要約筆記者としてのあり方」を学び、盛りだくさんの内容の研修日程を終えました。

2021年の本番まで、要約筆記者の皆さんのご協力を、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



みんな、身乗り出すようにして

三重県聴覚障害者支援センター

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131

三重県社会福祉会館5階

FAX (059) 223-3301 / TEL (059) 223-3302

http://www.deaf-mie-center.com/ e-mail: deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp

□利用時間 午前8時30分～午後5時

□休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

三重 聴覚



字幕映像ライブデモ NEWS

いよいよ、今年も残すところ1ヶ月。街はクリスマスの飾り付けがあちこちに見られ、もうクリスマス気分？お子さんたちはサンタクロースからのプレゼントや冬休みが待ち遠しいことでしょう。

今回はクリスマスや冬休みにお子さんと一緒に楽しめる物語を。ぜひ、ごらんください。

なお、「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳しくは当センターホームページで！



■ 今回のイチオシ作品 はこれです！ 『おはなしのくに (全3編)』



『おはなしのくに』タイトル画面



メニュー画面で、①字幕付き②手話付き③字幕・手話付きと自分に合わせて選択できます！

・『アラジンとまほうのランプ』

アラジンが手に入れた古ぼけたランプをこすると魔人が現れて望みを何でもかなえてくれた。おかげでアラジンは大金持ちになり、お姫様と結婚した。ある日、魔法使いが来てそのランプを奪い、城ごとお姫様をさらってしまい…。

・『かえるのえんそく』

大阪のかえるは京都見物を、京都のかえるは大阪見物をしたいと思い、天王山のとっぺんでバッタリ出会う。それぞれのお国自慢が始まり、とうとうどっちが日本一かこの山の上から見てみようということに。手をつないで2匹は向き合い「せーの」と山の下を眺めるが…。

・『スーホの白い馬』

モンゴルの草原に暮らす少年スーホーは、生まれたばかりの白い子馬を見つけ、大事に育てる。子馬はスーホーと兄弟のように仲良く暮らし、美しい白馬に育った。そんなある日、モンゴルの王様が競馬を開催し、白馬とスーホーはみごと一等になったが…。

■ 第6回手話フェスティバル (一般社団法人三重県聴覚障害者協会主催)

(一社)三重県聴覚障害者協会が今年も手話フェスティバルを開催します！
今年は今までにない試みとして、高校生手話スピーチコンテスト、そして記念講演に【次長課長】の河本準一さんをお招きするそうです。

●日時：2020年2月9日(日) 10:00～16:00

- ・10:00～ 第1部 式典
- ・11:00～ 第2部 高校生手話スピーチコンテスト
- ・13:00～ 第3部 記念講演【次長課長】河本準一さん

●場所：志摩市阿児アリーナ バイホール

●参加費：1日券 2,000円/記念講演券 1,500円

●後援：三重県/志摩市/三重県教育委員会/社会福祉法人三重県社会福祉協議会/公益社団法人三重県障害者団体連合会

※詳細については、当センターに案内ビラがあります！

